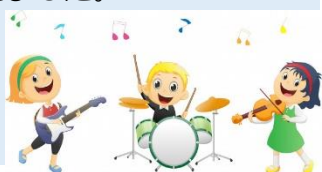


手作り楽器を使って楽しく演奏！

7月28日（火）、校内のどこから楽しそうな音楽が流れてきたのでその音源を探して校内を回りました。プレイルームで行っていた小学部5年生の「せいかつ」の授業です。子供たちはそれぞれ自分たちが作った楽器を手に先生が奏でる「さんぽ」の曲に合わせて演奏していました。自分のペースで楽器を鳴らすのではなく、全体のペースに合わせて友達と一緒に演奏を楽しんでいる様子うかがえました。

また、次の場面（ダンス）への切り替えもスムーズにおこなえ、今までの学習の積み上げが感じられる授業でした。先生の演奏も子供たちの興味・関心を引く良い演奏でした。



いろいろな手作り楽器



この他にもたくさんの興味深い手作り楽器があります。

授業の様子です。先生が奏でるトロンボーンとドラムに合わせて演奏しています。（写真は、一部加工しています。）



校舎建築工事現場風景（H2.10.17）

～創立30周年を迎えて～
たちばな

思い出のアルバム 28



先日、第1回学校運営協議会を行った際、委員の方から本校が開校するまでのことについてお話をいただきました。障害のある子供たちが、自宅から通学できる学校を設置してほしいという保護者や当事者の思いを実現するために理解・啓発の取組（ふれあい夏まつり等）を行ってきたことを出席者に伝えていただきました。

本校が設置されるまでにはたくさんの方々の苦勞があったようです。私たちの地域に特別支援学校があることが当たり前になっている現在だからこそ、当時の取組に感謝し、さらに発展させていかなければならないと思いました。また、本校の敷地造成工事の時に、近隣の子供さんが工事現場で遊んでいる中で命を落とすという痛ましい事故もあったそうです。その子供さんは、本校が開校したら就学する予定だったとのこと。ひょっとしたら自分が学ぶ予定の学校で少しでも早く遊んだり、勉強したりしたかったのではないのでしょうか。この悲しいお話は、私が本校への就任挨拶で通学区域の教育委員会を訪れる中で耳にしたお話でもあります。この『思い出のアルバム』を連載するきっかけにもなりました。